

全国ヨーグルトサミット&海の市山の市

2大イベント共同開催



イメージモデルの廣木葵さん(写真左)とカップヨーグルト研究会の向井智香さん(写真中央)

市政トピックス
TOPICS

昨年、茨城県小美玉市で開催された全国初のイベント、第1回全国ヨーグルトサミットを引き継ぎ、9月28日、29日の2日間、第2回全国ヨーグルトサミットin真庭が開催されました。初日のシンポジウムやワークショップでは、ヨーグルト関連の企業や専門家、学生などが知識を深め合いました。2日目のご当地ヨーグルト物産展は、海の市山の市と共同で行われ、会場は多くの来場者で賑わいました。またヨーグルト総選挙では蒜山酪農農業協同組合が見事1位を獲得しました。



全国のご当地ヨーグルトのブースが19も



たくさんの来場者



さまざまなアトラクションが開催されました



ヨーグルト総選挙で蒜山酪農が見事1位を獲得

9月26日、旧遷喬尋常小学校の保存と活用を考えるワークショップが旧遷喬尋常小学校の講堂で開かれました。約30人の参加者が「学びの場としての活用」「今のままでよいのでは」「真庭の玄関口に」など、それぞれが考えたことや活用について意見を出し合いました。今回出された意見は利活用検討委員会で提言書のなかに盛り込まれ、市に提言として提出される予定です。ワークショップは7月に続いて2回目の開催。

旧遷喬尋常小学校の保存と活用を考えるワークショップ
旧遷喬校舎をどう残す



活発に意見が交わされました



敬礼もバッチリきまったよ

幼年消防クラブ員一日入署
消防士になりきって火の用心
9月20日、幼年消防クラブ員一日入署が行われました。この行事は毎年実施されていて、今年は木山保育園の5歳児14人が参加しました。園児たちは、署内や消防車両の見学、ハンカチで口や鼻を押さえて煙の中を通る体験、防災紙芝居などさまざまなプログラムを半日かけて行います。その中でも、本物の消防車を使って行う放水体験は人気で、子どもたちは防火服を着るとはりきって放水体験に臨んでいました。



市長室から
こんにちは!

真庭の「文化」を深く、豊かに!

私たちは、「文化」という言葉を日頃よく耳にしますが、「文化」とは何かと改めて質問されると、チコちゃん番組のように「えっ」と困ります。広辞苑を調べると、「人間が自然に手を加えて形成してきた物心両面の成果」と定義されていますが、ここでは、限定して音楽や絵画・彫刻、書道、文学などを念頭におきます（スポーツも文化の範囲に入りますがここでは除外）。

真庭市にも有名な芸術家が沢山おられますが、近年大きな賞をいただいている方として、木工芸の國本敏雄さん、高月国光さん、書道の寺坂昌三さん、バルーンアートの野村昌子さん、映画監督の山崎樹一郎さん、絵画の稲岡篤さんなどが挙げられます。申し上げるまでもなく、市民の文化活動も活発です。工芸祭、川柳大会、展覧会、茶道・華道や盆栽の催し、各種コンサート、さらには富原のスカイハート灯のアートなど市内各地で多種多様な文化活動が活発に行われています。個人で開いている画廊もあります。それぞれが素晴らしい活動で、関係者の皆さんに感謝しています。

なぜ、感謝するのかといいますと、文化活動の活発さがその自治体の魅力、生活の豊かさのバロメーターだからです。真庭市合併後、同好の方々が結び付き易くなった結果、交流し刺激し合いながら、それぞれの文化活動が高まり、拡大してきたのではないのでしょうか。

今後、真庭から著名な芸術家が多く輩出され、大いに活躍されることを願っていますが、同時に市民の文化活動がもっともっと深くなり、かつ、広がることを期待しています。そうなれば、真庭が、もっと魅力ある豊かな地域になり、地域の価値が上がるに違いありません。地域の発展に繋がります。

今月3日は、日本国憲法の交付日を記念して1948年（昭和23年）に制定された文化の日。秋が深まり往くこの時期に、各自のスタイルで文化（読書も文化です!）を楽しみ、味わうことにしようではありませんか。



ピッタリ350グラムに野菜をそろえよう

10月6日、まにわ食育・健康マルシェ2019が開催されました。勝山文化センターでエクササイズセミナーが開催されたほか、健康づくりや食育に関する「健康ブース」が設けられました。この日は勝山町並み体験クラフト市も開催されており、両企画は連携し、町並み保存地区内の舟宿や、中央図書館にも健康ブースが並びました。訪れた人たちは趣向を凝らしたブースを楽しんでいました。

まにわ食育・健康マルシェ
クラフトと食育・健康の「3本レーション



赤ちゃんを見ると自然と笑顔に

10月17日と18日、北房中学校3年生の生徒たちと、乳幼児たちのふれあい体験学習が行われました。この取り組みは4年前から行われていて、今年は2日間で約40人の中学生が北房振興局2階の「子育て広場ほくぼうほたるっこ」を訪れました。生徒たちは、愛育委員や栄養改善協議会などの人たちからも手ほどきを受けながら、乳幼児を抱き上げたり、おむつ替えや着替えに挑戦したりしていました。

中学生と乳幼児のふれあい体験学習
大変だけどかわいい